

第24組 広報

発行日
2013年5月1日
第153号
発行責任者
組長 経澤成互

24組 社会問題研修会開催

演題 「もったいない おかげさま ほどほどに」 M H O(頭文字)

講師 森 建司 氏 新江州(株) 取締役会長

去る3月23日、長照寺様(唐川)にお世話になり社会部会の研修会を開催しました。少々寒い日でしたが、組内から80名もの住職、門徒様の参加を頂きました。有難うございました。

今回は、二つの新しい試みとして、1. 講師に、現役の企業経営者をお願いしました。2. 講演の後半で、副組長の美濃部(来入寺住職)氏と対談して頂きました。森氏は、10年以上前から環境型社会システム研究所を立ち上げられ、循環型社会を目指す情報発信として、MOH通信として、MHO通信を年4回発行されています。M O H「もったいない(循環)・おかげさま

(共生)・ほどほどに(抑制)」要らないものを作り続ける経済の矛盾。豊かさが創った幸せと不幸せ。持続可能社会とは何か。について具体例をあげて講演頂きました。

「なるほど、そうだなあ」と、思うお話で、皆様真剣に興味を持って聞いて下さいました。後半の対談も森氏の講演を踏まえ、私達真宗門徒が現代社会の課題をどのように受け止めていくべきかを語って頂きました。

社会部会 雨森善司



対談風景



お寺の掲示板

充滿寺（高月町西野）

じゅうまんじ

取材 広報委員 林



今回は、高月町西野の充滿寺さんを訪問しました。西野は、屏風を立てかけて囲むように、西と北側に山が続いてあり田んぼに囲まれた約八〇戸の集落で、当寺は集落のほぼ真中にあります。正面の右側に掲示板があり『散る桜 残る桜も 散る桜』というお言葉が書いてありました。西野三宝子坊守は、テレビ、新聞などから季節感のあるものを月に一回掲示されるとのことでした。その内容は、「一八世住職を三年前に亡くしたが、身内の者が死んで、自分が残っているが、自分はいつまでも生きていくのではなく、自分も死んでいく。」とのことでした。また、坊守は、「人間の命は、はかないものである『一処一処』と言って、みんな亡くなったらお浄土で会わせていただける、主人、父母、親戚、親しかった方々など大切な人たちに会わせていただけることを思い、一日一日を大切に生きていたいと思っています。」とも話して下さいました。西野は皆さんも「存じのように西野水道で有名であります。一八〇七年（文化四年）今から二〇六年前に、当地区は余呉川と山に囲まれ低地であったため、大洪水がおこり数日間水が引かず泥沼となり農作物に大きい被害が出ました。そこで一八四〇年（天保十一年）から、当寺の先代である十一世西野恵荘住職が中心となり、村人とともに6年間に及ぶ苦心の末にトンネルを掘って琵琶湖へ排水することに成功しました。その後、余呉川の改修とともに二本のトンネルが掘られ現在は三本目のトンネルを利用して当地や付近集落も含め洪水から解消されました。坊守は、「このようになったことは、西野の方々の信頼と協力のおかげと思っています。」とも、お話しされました。六月二日（日）には、恵荘上人の偉業をたたえる法要（午前八時三〇分から）や、お祭りをされるこのことです皆さんも、この機会に「充滿寺」さんに、お参りされ掲示板のお言葉に触れられ西野水道を見学されたいと思います。

【蓮如上人御影道中】

御影道中は、蓮如上人の没後、北陸での教化のご苦労とその徳を偲んで吉崎御坊（吉崎別院）で厳修される御忌に、上人の御影を本山よりお迎えして勤められたのが始まりであると伝えられています。以来、上人が歩いたといわれる約二四〇キロの道程を、随行教導や幸領をはじめとする供奉人（くぶにん）方が御影と共に歩む御仏事として三〇〇年以上の間連続と続けられています。道中は真宗本廟における御下向式「四月十七日」に始まり、約一四〇箇所の会所に立ち寄り上人の御教化にあわれながら、御帰山式（五月九日）をもって終了します。

福井県吉崎別院での御忌法要（四月二十三日～五月二日）の後、京都真宗本廟に向けて帰路約二八〇キロの道程を八日間かけて帰山されます。当地には五月五日（日）午後二時三〇分ごろに柳ヶ瀬景好寺に立ち寄りされ、余呉町を経由して夕方には木之本明楽寺にご到着されてお泊まりになります。明楽寺では、同日午後八時より本堂でお勤めがあり、随行教導の法話があります。是非お誘い合わせてお参りくださるようご案内申し上げます。

（広報委員 秦）



敬 弔

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

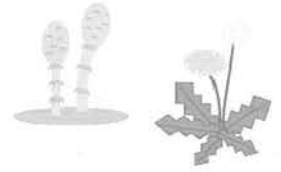
松尾 賢静 様（78歳）

（高月町松尾：覚念寺住職）

平成25年3月8日命終

しずがたけ 親鸞聖人生会

賤ヶ岳ハイキング



4月20日(土)10時から木之本町大音の誓海寺・賤ヶ岳にて第14組と合同でハイキングを行いました。子ども達の参加は56人、引率の方や保護者の方、スタッフを合わせると100人近くの参加人数となりました。

始めに開会式を誓海寺本堂にて行いました。真宗宗歌、お勤めを行い、14組の榎組長に挨拶をして頂き、お話を誓海寺住職の谷孝之さんにして頂きました。当日の日程、レクレーションの説明後に開会式は終了し、紙芝居を2本観た後誓海寺を出発しました。最初の目的地は伊香具神社でした(①)。その神社でそれぞれが自分の名札を作ったり、後のレクレーションのヒントも発見しました。次は源左(げんざ)に移動し、昼食におにぎりとお汁をいただきました(②)。おにぎりもお汁も大盛況で、お汁を5杯もおかわりする子もいました。昼食後はいよいよ賤ヶ岳へ(③)。頂上ではレクレーションを3つ行いました。賤ヶ岳の道中は斜面も急で子ども達も大人も四苦八苦していました。特に帰りは転げ落ちないかハラハラしたそうです。下山後は再び源左へ行き、お汁粉をみんなで食べました(④)。ガチャガチャも1人1回し、1等賞から3等賞が当たった時はすごい歓声が上がりました。最後は誓海寺に戻って閉会式を行いました(⑤)。レクレーションの成果を発表し、24組の澤組長にお話をして頂き、恩徳讃を歌って式は終わりました。その後、子ども達はお土産にわたがしやポップコーンなどを貰って家路につきました。

当日の天気は段々悪くなり雨が降るという予報でしたが、レクレーション中は降らず、閉会式直前から降り始めたので一安心でした。予想していた人数の倍の参加者でうまく行くか不安でしたが、子ども達が楽しんでいたので成功の内に終わったと思います。

藤(青少年部会)

レクレーション中

こけないように気をつけて

ヒント!

**ガチャガチャ中
何がでるかな**

**最初の目的地
到着**

**お汁粉のお餅はまだ
焼けない?**

誓海寺本堂にて

賤ヶ岳

伊香具神社

源左

誓海寺

＜御坊さん人生講座＞

『東日本大震災から私が問われていること』
19:00～20:30 長浜別院にて

5月21日(火)『性差別とは何か』

講師 藤場芳子氏(石川県野々市市 常讚寺)
宗務所 「女性室」非常勤嘱託

6月6日(木)『ブータンと幸福論—「死をふくむ幸福」を考える—

講師 本林靖久氏(大谷大学講師)
「ブータンスタイル—仏教文化の国から」「ブータンと幸福論—宗教文化と儀礼」著者

＜しんらん講座＞

たんにしょう
『歎異抄に聞く』

講師 一楽 真 氏(大谷大学教授)

2013年 会場:長浜別院

第6回 5月13日(月)地獄一定の信—第2章

第7回 6月10日(月)悪人の救い—第3章

時間 午後2時から午後4時

(受付は午後1時半より)

受講料 1回500円 年間券2,500円

組・各寺の法座等のご案内

会場	法座名	期 日	法話者等
真宗本廟	坊守会上山奉仕	5月10日～11日	同朋会館教導
妙覚寺(東柳野)	組同朋大会	6月9日(日)13時	真城 義麿氏
西徳寺(赤尾)	坊守会総会	6月8日(日)9:30	
充滿寺(西野)	組婦人部総会	6月16日(日)13:30	
円常寺(千田)	組壮年会総会	6月29日(土)16:30	川那部恵龍氏
浄教寺(東阿閉)	永代経	6月2日(日)10時・13時	沢面 宣了氏
充滿寺(西野)	永代経	6月14日(金)10時・13時	橘 善證氏
充滿寺(西野)	相続講	6月16日(日)9:30	古松 了裕氏
明楽寺(木之本)	蓮如上人御影道中	5月5日(日)20時	相馬 豊氏
樹徳寺(田居)	永代経	6月9日(日)	祖父江佳乃氏

長浜教区第24組

同朋

大会

◆6月9日(日)午後1時より

会場:妙覚寺(高月町東柳野)

講師:真城義麿氏

(四国教区善照寺住職:前大谷中高等学校長)

教如上人講座

講師 太田浩司 氏

長浜城歴史博物館学芸員(参事)

第2回 5月22日(水)

「教如上人書状を読む」

会場:五村別院 本堂

時間:午後2時から午後4時まで

(受付は午後1時半より)

参加費:500円

第3回 7月24日(水)

「五村別院の建立と教如上人」

第4回 9月25日(水)

「教如上人像と廻り仏」